



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)北村 稔 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,543	5.5	1,027	△12.4	1,180	6.3	776	20.2
2020年3月期第3四半期	9,049	21.4	1,173	162.0	1,110	300.0	646	2.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 800百万円(25.8%) 2020年3月期第3四半期 636百万円(5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	34.53	—
2020年3月期第3四半期	28.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,762	16,093	45.0
2020年3月期	36,062	15,495	43.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 16,093百万円 2020年3月期 15,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	9.0	9.0
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 期末配当予想については、本日(2021年2月12日)公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	3.4	1,280	△18.3	1,430	△6.4	900	△1.5	40.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 連結業績予想については、本日(2021年2月12日)公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	22,500,000株	2020年3月期	22,500,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	4,642株	2020年3月期	4,642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	22,495,358株	2020年3月期3Q	22,495,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業収益は大幅な減少が続き、感染対策を行いながら徐々に社会経済活動を戻していくなかで、各種政策の効果により生産や個人消費に持ち直しの動きがあったものの、12月以降に感染急拡大がみられるなど収束が見通せない状況が継続しており、経営環境は依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループの主要販売先となる遊技場につきましては、緊急事態宣言発令時においては、休業や時短営業など営業活動を自粛し、解除後には感染予防対策を講じつつ、集客活動の正常化に向け営業活動を再開いたしました。が、新型コロナウイルス感染拡大の影響は長期化の様相を呈し、経営環境は依然として厳しい状況が継続しております。

また、規則改正等に伴う旧規則機の撤去期限延長の影響は、遊技場における新規機への入れ替え機種への選択およびタイミングなど難しい判断が必要となるものと考えられます。

このような状況のなか、機器事業は、周辺設備機器部門において、『樹脂研磨式メダル自動補給システム』、『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に注力いたしましたが、先行き不透明な状況から設備投資スタンスは抑制的であり、販売状況は大変厳しいものとなりました。遊技機部門においては、12月に市場投入いたしました「パチスロひぐらしのなく頃に祭2」が市場において高評価を得るとともに、受注台数も堅調に推移し、当初想定販売台数を上回り、業績に大きく貢献いたしました。

不動産事業は、一部テナントの退去、賃料減額要請等もありましたが、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所（発電能力合計24メガワット）を順調に稼働させており、安定的な収益を確保いたしました。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及び株式会社レッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行いました。

また、第1四半期より、前連結会計年度第4四半期連結会計期間において、貸借対照表数値のみを報告セグメントとしておりました、株式会社下仁田物産が運営する農産加工品製造・販売事業を食品事業とし業績数値に含めており、主に蒟蒻類、蒟蒻ゼリーの製造・販売を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高9,543百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益1,180百万円（前年同期比6.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益776百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

（機器事業）

機器事業は、当第3四半期は売上高5,616百万円（前年同期比19.8%減）、セグメント利益708百万円（前年同期比33.6%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業は、当第3四半期は売上高584百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益313百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

（電気事業）

電気事業は、当第3四半期は売上高735百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益290百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業は、当第3四半期は売上高745百万円（前年同期比31.6%増）、セグメント損失10百万円（前年同期は23百万円の利益）となりました。

（食品事業）

食品事業は、当第3四半期は売上高1,770百万円、セグメント利益108百万円となりました。

なお、株式会社下仁田物産が運営する農産加工品製造・販売事業を「食品事業」としており、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より貸借対照表数値のみを報告セグメントとしており、前年同期比較は記載しておりません。

(その他事業)

その他事業は、当第3四半期は売上高91百万円(前年同期比47.9%減)、セグメント損失15百万円(前年同期は10百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2020年3月31日)に比べ300百万円減少し、35,762百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ313百万円増加し、16,037百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加(2,266百万円増)、仕掛品の増加(214百万円増)の一方で、現金及び預金の減少(1,418百万円減)、電子記録債権の減少(361百万円減)、原材料の減少(111百万円減)、その他に含まれる前渡金の減少(423百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ613百万円減少し、19,724百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加(174百万円増)、機械装置及び運搬具の減少(304百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ898百万円減少し、19,669百万円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の減少(487百万円減)、未払法人税等の減少(235百万円減)、長期借入金の減少(583百万円減)、役員退職慰労引当金の減少(141百万円減)の一方で、支払手形及び買掛金の増加(335百万円増)、流動負債その他に含まれる未払金の増加(359百万円増)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ598百万円増加し、16,093百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(574百万円増)によるものです。

この結果、自己資本比率は45.0%と前連結会計年度末に比べ2.0ポイント増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの拡大が当社に与える影響の不確実性が高く、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしましたので公表いたします。また、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,912,372	7,494,172
受取手形及び売掛金	1,632,984	3,899,754
電子記録債権	805,917	444,555
商品及び製品	1,020,030	1,081,993
仕掛品	284,431	498,983
原材料	1,826,743	1,715,709
コンテンツ	555	1,118
その他	1,247,264	906,018
貸倒引当金	△6,346	△4,666
流動資産合計	15,723,954	16,037,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,411,310	5,236,499
機械装置及び運搬具(純額)	3,461,286	3,156,943
土地	9,382,758	9,382,758
リース資産	269,824	209,098
その他(純額)	118,943	145,310
有形固定資産合計	18,644,123	18,130,610
無形固定資産		
のれん	112,335	95,485
ソフトウェア	86,721	65,399
その他	19,375	17,643
無形固定資産合計	218,431	178,528
投資その他の資産		
投資有価証券	289,171	324,020
長期貸付金	1,449,000	1,533,500
繰延税金資産	215,492	189,954
長期前払費用	360,752	307,905
その他	333,520	297,624
貸倒引当金	△1,171,945	△1,237,387
投資その他の資産合計	1,475,990	1,415,617
固定資産合計	20,338,546	19,724,756
資産合計	36,062,500	35,762,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,306,302	2,641,611
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	3,044,997	2,557,796
リース債務	81,798	77,137
未払法人税等	422,356	186,792
賞与引当金	68,030	29,090
製品保証引当金	4,000	3,000
返品調整引当金	3,415	—
その他	437,638	773,416
流動負債合計	7,508,538	7,408,842
固定負債		
長期借入金	11,221,013	10,637,845
リース債務	193,746	136,691
役員退職慰労引当金	534,698	393,027
退職給付に係る負債	65,103	69,484
長期預り保証金	717,724	695,014
資産除去債務	324,463	326,314
その他	2,206	1,851
固定負債合計	13,058,956	12,260,229
負債合計	20,567,495	19,669,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,814,447	14,388,852
自己株式	△4,311	△4,311
株主資本合計	15,490,735	16,065,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,269	28,182
その他の包括利益累計額合計	4,269	28,182
純資産合計	15,495,005	16,093,323
負債純資産合計	36,062,500	35,762,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	9,049,205	9,543,212
売上原価	6,419,927	6,709,940
返品調整引当金繰入額	224	286
売上総利益	2,629,053	2,832,985
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	161,590	132,352
販売促進費	195,484	318,971
役員報酬	157,353	149,768
給料手当及び賞与	224,378	256,971
賞与引当金繰入額	11,701	11,132
退職給付費用	10,381	14,485
役員退職慰労引当金繰入額	6,473	7,345
製品保証引当金繰入額	6,000	3,000
貸倒引当金繰入額	3,969	△8,533
販売促進引当金繰入額	△3,550	—
その他	681,482	919,831
販売費及び一般管理費合計	1,455,265	1,805,325
営業利益	1,173,788	1,027,660
営業外収益		
受取利息	5,163	5,685
受取配当金	6,170	6,324
雇用調整助成金	—	150,452
保険解約金	—	70,750
企業立地奨励金	44,444	38,808
その他	15,313	34,223
営業外収益合計	71,091	306,244
営業外費用		
支払利息	56,587	59,438
貸倒引当金繰入額	63,000	84,500
その他	14,978	9,639
営業外費用合計	134,565	153,578
経常利益	1,110,315	1,180,326
特別利益		
固定資産売却益	—	2,782
役員退職慰労引当金戻入額	—	70,956
特別利益合計	—	73,739
特別損失		
固定資産除売却損	0	798
特別損失合計	0	798
税金等調整前四半期純利益	1,110,315	1,253,267
法人税、住民税及び事業税	463,599	461,399
法人税等調整額	621	15,004
法人税等合計	464,221	476,404
四半期純利益	646,093	776,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	646,093	776,863

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	646,093	776,863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,788	23,913
その他の包括利益合計	△9,788	23,913
四半期包括利益	636,305	800,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636,305	800,776
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	6,999,495	554,315	753,756	566,733	174,903	9,049,205	—	9,049,205
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	36,307	—	400	374	42,881	△42,881	—
計	7,005,295	590,622	753,756	567,133	175,278	9,092,087	△42,881	9,049,205
セグメント利益又は損失(△)	1,066,638	259,796	246,380	23,284	△10,598	1,585,501	△411,712	1,173,788

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△411,712千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	食品事業
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,616,822	584,583	735,042	745,623	1,770,033
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,012	36,988	—	2,492	6,655
計	5,619,834	621,572	735,042	748,115	1,776,689
セグメント利益又は損失(△)	708,335	313,447	290,259	△10,251	108,670

	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
(1)外部顧客に対する売上高	91,106	9,543,212	—	9,543,212
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	83	49,231	△49,231	—
計	91,189	9,592,444	△49,231	9,543,212
セグメント利益又は損失(△)	△15,473	1,394,987	△367,326	1,027,660

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△367,326千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの新設)

前連結会計年度において、株式会社下仁田物産の株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「食品事業」を新たな報告セグメントとして新設しております。なお、株式会社下仁田物産については、2020年2月29日を取得日とみなして会計処理を行っているため、当該変更による前第3四半期連結累計期間のセグメント情報への影響はありません。

(追加情報)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度から重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は、事業によりその影響が異なり不確定要素があることから、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。